

新潟県中越沖地震 被災者支援ボランティアを急募します！！

呼びかけ

神奈川災害ボランティアネットワーク

かながわ災害救援ボランティア支援センターサポートチーム

責任者 植山利昭

新潟県中越沖地震の被災地では災害救援ボランティアを広く受け入れ始めました。神奈川では、7月22日から24日、「先発隊」を派遣し現地のボランティアセンターや被災地の状況・県外ボランティアの受入ニーズなどの情報を収集し、7月29日に報告会を行い神奈川から新潟県中越沖地震被災者支援ボランティアを派遣することになりました。今回は一般募集を行わず、神奈川災害ボランティアネットワーク加盟の地域災害ボランティア団体や関係団体の方々に参加を呼びかけていきたいと思っております。大変急なことではありますが各地域ネットからぜひ2～3名程度の参加をお願いします。

I 8月10日（金）夜から12日（日）まで、 災害ボランティアの第一陣を派遣することになりました。

◆ 詳細は、別紙ボランティアバス実施要領・参加申込書をご参照願います。

II 災害救援ボランティアの活動を支援する支援金も併せて募ることになりました

7月22日～24日先発隊調査報告

- ①仮設住宅がお盆前に完成すると思われるので、避難所での支援、仮設住宅への引越しなど多くのボランティアが必要と思われる。また、最近では若者の足湯隊など、心と身体のケアとしてユニークな取り組みもあります。
- ②3箇所のボラセンの状況と被害状況を車で調査。どこも、社協の施設を使ってボラセンを設置。表に受付とマッチングのテントを張って活動をしていた。避難所も直近にあり、避難している人とも接触できる位置にあった。
- ③被害は広い範囲にわたり甚大であって、道路の状態も悪く封鎖している道路や孤立している地域もある模様。断水の地域も多く、トイレ状態も悪い。被災者に高齢者も多く、高齢者対策も重要。
※ライフラインのうち電気は使えた、インターネットによる情報発信は可能
※水道については復旧が急がれており使える地域も多くなると思われる。
- ④コーディネーターもかなり疲労しているとの報告もされた。
- ⑤被害の甚大さと被災者の多さからも、長期的な取り組みになると思われる。



調査地 : 柏崎市西山町、刈羽村、柏崎市
先発隊 :

植山 利昭（神奈川災害ボランティアネットワーク副代表）
森 清一（はだの災害救援ボランティアネットワーク）
森井 康夫（藤沢災害救援ボランティアネットワーク代表）
水島三千夫（藤沢災害救援ボランティアネットワーク副代表）